

NPO法人「ホース・フレンズ事務局」理事長

芦内 裕実さん(47)

大阪を創る

馬と触れ合うことで心身だのがぎっかけだった。に癒やしの効果をもたらす 40度以上の高熱と悪寒にとされる「ホース・セラピー」による震えで、脇に挟んだ体の専用牧場が26日に枚方 温計を割ってしまった。ろく市の京阪枚方市駅近くにオ 膜に水がたまり、背中が痛ーブンした。乗馬や馬の世 話を通して不登校や引きこ 食欲もなくなった。

後、姉の住む実家で療養す 1カ月半の入院生活の ることになったが、回復し 技ができる腕前を持ってい たが、とても乗れるほどの 体力はなく、馬の首をなで たり、抱きついたりした。 すると、どうだろう。大 きな瞳の馬は芦内さんの腕 をなめ、慰めてくれた。

牧場をつくったのは大阪 市大正区のNPO法人「ホー ス・フレンズ事務局」。し。街中に出る気も起ころ 理事長の芦内さんがホース ない。電車に乗ろうとして ・セラピーに注目したのも、そこに人がたくさんい は、7年前に結核で苦しん

る光景が頭をよぎると、吐 する。 馬のセラピー効果に気付 いた芦内さん。心理カウンセラーの勉強を始めよう と、引きこもりに関するシ ンポジウムに出席した。



馬と一緒に癒やしを与える活動をする芦内さん

記者の見た目

落ち着いた話しぶりですが、悩んでいる人を助けたいという熱意とバイタリティーが伝わってきます。

馬でセラピー 拠点できた



牧場では、サラブレッドやポニーと触れ合うことができる一枚方市新町

い……。参加者の悲痛な訴えを聞いた。 あげたい。 「身の回りにも不登校の子供たちがいる。引きこもっている人にできるだけ早

「お年寄りから子供までが交流できる場にしたい」と意気込んでいる。(中島高幸)

大阪市大正区出身。大阪市内の企画会社で勤務していたが、NPOを立ち上げる直前に、退職。平成16年4月にNPO法人「ホース・フレンズ事務局」(80120・372・403)を設立。今月26日に枚

方市内に「ホース・フレンズ枚方セラピー牧場」を開設した。ラジオ大阪の番組「ホース・フレンズ ライフ・イズ・ビューティフル」(毎週水曜午後7時~同7時15分)に出演している。

企画会社の社員の経験を生かして大学教授や医師、調教師、議員などの賛同者を集めた。みんなその道のプロばかりだ。 大阪を中心とした乗馬クラブで、馬の世話や乗馬などの体験教室を開いてきた。参加した茨木市内の女子高校生は、対人恐怖症で中学1年のころから学校に行けなくなっていた。乗馬や馬の世話をするうちに心を開き始め、「初めて人と話して楽しいと思った」と、登校するようになったという。

これまでの体験プログラムは各地の乗馬クラブを借りての開催だったが、拠点となる牧場ができた。「お